

あまがさき自治体
カイゼン宣言
2008

~ 私たちはALL JAPANの精神で仕事を行います ~

自治体業務改善運動の広がり

- 福岡市DNA運動の遺伝子が受け継がれ、業務改善運動の取り組みが、全国の自治体の間に急速に広がっています。
- 業務改善運動は、お祭りのような要素も取り入れて職員の気持ちを奮い立たせながら、わかりやすく、取り組みやすい現場発の改革改善の手段として極めて有効であることがわかってきました。
- そして今日、14自治体の代表チームの素晴らしい実践体験を学び、まさに思いは実現することを改めて実感できたのではないのでしょうか。

わたしたち自治体職員の使命

- 世の中を、磨き、感動する、変えるのは、人間の力です。日々の業務のなかで、素直に見つめることで感受性を磨き、感動すること大切。
- わがまちを良くしたいという強い思いをもっ改善に取り組みます。この変化となつて、やがては周りに波及していきます。
- 私たちが自治体職員の使命は、明くる健康な地域社会を築くために、常に前を向いて、理想を追求することです。現社会の努力を続けること、健全な地域社会を築くこと、税金を無駄にしないこと、市民の生活を豊かにすること、など、多くの課題があります。
- そして私自身、自治体職員の使命を果たす仕事をしたいと思っております。

学び合い高め合う中でALL JAPANをめざす

- 改善に取り組む時には、難しく考える必要はありません。全国にある約1,800の自治体では、多くが同じような仕事をしています。
- 今日、全国14都市の優秀な改善事例を一同に集めたのは、改善の知恵の「共有」を図るとともに、集まった全員が自治体の業務改善の本質に気づき、自らの職場で、効率的な行政運営と不断の改善改革に取り組む「共鳴」を起こすためです。
- これからの自治体経営を支えるのは、そして日本を変えるのは、「共鳴」のネットワークです。お互いに学び合い高め合う中で、自信を持ってALL JAPAN！と言えるだけの視野の広がりをもって、仕事に取り組んでいくことが求められています。

最後に、これから一歩踏み出したいと
思っている、“あなた”へ

あなた、から始める改善運動。

まわりを少しずつ巻き込みながら。

がんばる“あなた”を私たちは応援します！

さあ、まず、やってみましょう！

きょうめい（共鳴）し合った、今日という日を忘
れずに！

2008年（平成20年）3月24日

全国都市改善改革実践事例発表会

『ALL JAPAN - あまがさき 14(ジューシー)』にて